

栗原地区及び本吉地区における県立高校の再編について

学科編成・学校配置の見直しについては、実施計画において実施概要を公表したうえで進めることを基本としていますが、平成25年2月に策定した第2次実施計画において「実施計画に記載のないものであっても、実施準備に速やかに着手する必要がある場合は、実施概要を実施計画に準じた形で個別に公表したうえで実施準備に着手していきます」としています。

今回、第2次実施計画に記載はないものの、今後の地区の中学校卒業生数の減少の見通しや、学校の活力維持の観点等から、速やかに学校配置の見直しを行う必要があるものと判断し、新たな高校再編計画を公表することとしました。

学科編成・学校配置計画概要

再編の基本的考え方にに基づき、地区の中学校卒業生数及び必要学級の見通し並びに現在の高校の配置及び学校規模の状況を踏まえ、栗原地区及び本吉地区において、以下のとおり学校の再編を行います。

(1) 栗原地区における機械系学科の再編

迫桜高校において、自動車系科目に加え機械系科目を大幅に拡充のうえ、同校に機械系学科機能を集約することとし、栗原地区の今後の中学校卒業生数の減少見込み等を踏まえ、岩ヶ崎高校創造工学科（鶯沢校舎）については募集停止とします。

迫桜高校	5学級（総合学科5）
岩ヶ崎高校鶯沢校舎	1学級（創造工学科1）



迫桜高校 (平成27年4月)	総合学科5学級
機械系科目の拡充	
岩ヶ崎高校鶯沢校舎 (平成28年4月)	募集停止

(2) 本吉地区における高校の再編

本吉地区では、平成26年から32年までに中学校卒業生数が約210人減少する見込みであり、1学年あたり6学級減が必要となっていることを踏まえ、新県立高校将来構想に定める『活力維持や教育機能を十分に発揮し得る学校規模』を維持するため、気仙沼高校と気仙沼西高校を統合し、現行の5校体制を4校体制に再編することで、同地区を牽引する進学拠点校を新設します。

